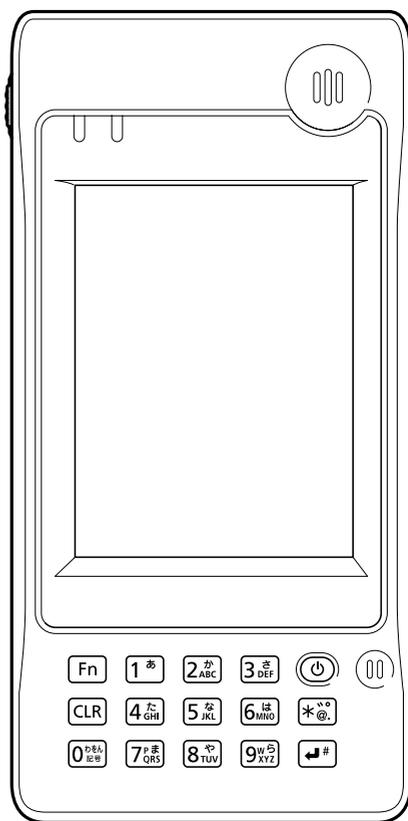


CASIO®

モバイルコミュニケーションターミナル DT-5100シリーズ

取扱説明書

- ・この取扱説明書は、本機の基本的なご使用方法および取り扱いについて説明してありますのでご使用前にひと通りお読みください。
- ・ご使用前に「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。
- ・保証書の記入を確認の上、取扱説明書とともに大切に保管してください。



本製品は、XTNDConnect Blue SDK for Windows CEを搭載しています。XTNDConnect Blue SDK for Windows CEの著作権は米国Extended Systems, Inc. が所有しており、カシオ計算機はライセンスを受けて使用しています。



BLUETOOTHは、Bluetooth SIG, Inc., U.S.Aが所有する商標で、カシオ計算機はライセンスを取得しています。

Microsoft, Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Datalightはデータライト社の登録商標です。

FlashFX™はデータライト社の商標です。

Datalight is a registered trademark of Datalight, Inc.

FlashFX™ is a trademark of Datalight, Inc.

Copyright 1993-2000 Datalight, Inc., All Rights Reserved

U.S. Patent Office 5,860,082

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・ ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



プラグを抜く

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

使用上のご注意

警告

■ 分解・改造しないでください



分解禁止

- 本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また、高温になる部分がありやけどの原因となります。

■ 異常状態で使用しないでください



注意

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、購入先またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。

■ 異物が中に入ったときは



注意

- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 破損したときは



注意

- 万一、本機を破損した場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 水などがかからないようにしてください



禁止

- DT-5100は防沫仕様ですが、オプションのIOボックス等は防沫仕様ではありませんので、水などの入った容器または金属物を置かないでください。また、DT-5100を濡れた状態で装着しないでください。水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ レーザ光をのぞき込まないでください



- 本機は、レーザー光でスキャンします。レーザー光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

無線通信機能の取り扱いについて

警告

■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)



注意

- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がありますので、無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)



注意

- 本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
 - その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「商品についてのご相談」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

2.4 FH1



この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

2.4 DS4



この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、与干渉距離は40mです。

⚠ 注意

■ 異物が入らないようにしてください



禁止

- 内部に金属物や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。

■ 設置場所について



禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中に長時間放置しないでください。

■ 本機の上に重いものを置かないでください



禁止

- 重いものを置くと、置いたものがバランスをくずして倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 表示画面の取り扱いについて



禁止

- タッチスクリーンを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。タッチスクリーンや液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
 - ・ 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

別売のリチウムイオン充電電池パックについて

危険



禁止

- 充電電池パックを水や海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックは指定された機器以外で使わないでください。指定機器以外の用途に使うと、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックはプラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に取り付けるときはプラス・マイナスを逆に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、充電電池パックが漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックの⊕と⊖端子を針金などでショートさせないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。金属類が端子に触れてショートすると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。充電電池パックを持ち運ぶときや保管するときは、充電電池パックに付属のソフトケースを取り付けてください。
- 充電電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを分解したり、改造したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの充電は専用充電器を使用してください。他の充電器で充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

⚠ 警告



禁止

- 充電電池パックを電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから異臭がする、発熱、変色、変形している場合は使用しないでください。そのまま使用すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの使用時間が今までより著しく短くなった場合は、充電電池パックの異常の可能性がありますので使用を中止してください。この異常な充電電池パックを充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 所定の時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止してください。そのまま充電を続けると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから液がもれていたり、異臭がする場合は火気から遠ざけてください。引火して充電電池パックを破裂、発火させる原因となります。
- 充電電池パックからもれた液が目に入ったときは、こすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の診断を受けてください。

⚠ 注意



禁止

- 充電電池パックを直射日光の当たるところや炎天下の車内など高温のところで使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックを発熱、発火させる原因となります。また、充電電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 静電気の発生する場所で充電電池パックを使わないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックからもれた液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。
- 充電電池パックは小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。また、使用中は小さなお子さまが充電器や使用機器から取りはずさないようご注意ください。

AC電源の使用について

⚠ 警告



禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしてください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。



注意

- シリアルI/Oボックス又は置くだけ充電器を利用するときは、必ず専用ACアダプタをお使いください。専用品以外のACアダプタを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、購入先またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



禁止

- 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります（必ずプラグを持って抜いてください）。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- シリアルI/Oボックス又は置くだけ充電器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 使用後はシリアルI/Oボックス又は置くだけ充電器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長期間シリアルI/Oボックス又は置くだけ充電器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ACアダプタについて

⚠ 注意



- ケース表面が、ある程度の熱を出すので、注意してください。



- 感電に、注意してください。



- ACアダプタは年に1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部を清掃してください。

ACアダプタにほこりがたまると、湯気などで絶縁不良となり火災のおそれがあります。

重要なデータは控えをとっておいてください

⚠ 注意



注意

- 本機を使用したことおよび故障／修理や電池消耗などにより、データが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社ではその責任を負えません。あらかじめご了承ください。
- 本機は、電子メモリを使用しているため、電池が消耗したまま放置したり、電池交換の仕方を誤ったりして一定の電源が供給できなくなると、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。

■ ご使用上の注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

● **電池が消耗した状態で使い続けないでください。**

データが消えたり変化することがあります。電池が消耗したら、すぐに電池を充電してください。

● **消耗した電池を入れたまま、長時間放置しないでください。**

電池が液漏れすることがあります。液漏れは本機の故障、破損の原因になることがあります。

● **各機種の使用温度の範囲内でご使用ください。**

範囲外で使用すると故障の原因となります。

● **次のような場所での使用は避けてください。**

本機の故障、破損の原因になります。

- ・ 静電気が発生しやすいところ
- ・ 極端に高温または低温のところ
- ・ 湿度の高いところ
- ・ 急激な温度変化が起こるところ
- ・ ほこりの多いところ

● **タッチスクリーンやリセットボタンは、必ず専用のスタイラス(ペン)で操作してください。**

● **スタイラス(ペン)以外でのタッチスクリーン操作はお避けください。タッチスクリーンがキズついたり、動作上の障害が発生することがあります。**

● **本機の清掃に、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。本機が汚れたときは、乾いた布か中性洗剤に浸して固くしぼった布で拭いてください。**

はじめに

- ・本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告なしに変更することがあります。
- ・本書の使用による損害および不利益などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- ・本書では、本機のプログラミング方法、ダウンロード方法などは記載いたしておりませんので、ダウンロードなどに関しては、別資料をご覧ください。

保証およびサービスについて

- ・保証書は製品に添付しておりますので、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。保証書に「品名」「保証期間(購入日)」「購入先名」などの所定事項が記入されていないと無効となり、無償修理などを受けることができません。もし記入されていないときはすぐにお買い上げの購入先に申し出て記入してください。
- ・万一故障した場合は機種名およびお買い上げ日と故障内容をお買い上げの購入先までご連絡ください。
- ・安心して機械をご使用いただけるように、購入時に「保守契約」を締結されることをお勧めいたします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスBの情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●本製品の使用済後の取扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。

お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収申込方法は、カシオホームページ【<http://www.casio.co.jp>】でご案内しております。

●本製品は二次電池を使用しております。交換後のリサイクルにご協力下さい。

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地球環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりました二次電池の回収・再資源化活動を行っております。弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収については、カシオホームページ【<http://www.casio.co.jp>】でご案内しております。

安全上のご注意	3
ご使用上の注意	11
はじめに	12
お使いになる前に	15
本機のシステム体系図	17
別売品一覧	17
各部の名称とはたらき	20
電池交換のしかた	22
充電電池パックの交換のしかた	22
ネクストラップの取り付けかた	25
タッチスクリーン保護シートの取り付けかた	26
本機の設定について	27
タッチスクリーンの位置補正をする	27
コントラストを調節する	28
画面の明るさを調節する	28
画面の明るさを自動減光する	28
レーザースキャナの取り扱い	29
警告ラベルについて	30
バーコードをスキャンする位置	30
データ通信について	31
赤外線通信	31
Bluetooth®通信	32
リセットのしかた	33
フルリセット(メモリの初期化)について	34
DT-5100の仕様	35
シリアルIOボックス(DT-5164IO/5160IO) の取り扱い	36
各部の名称とはたらき	36
付属品	36
シリアルIOボックスの電源の取り付けかたと接続	38
DIPスイッチの設定(DT-5164IOのみ)	40
壁に掛けて使う	41
シリアルIOボックス(DT-5164IO)を2台以上接続する	43
シリアルIOボックス(DT-5164IO/5160IO)の仕様	44
置くだけ充電器の取り扱い	45
各部の名称とはたらき	45
付属品	45
置くだけ充電器の電源の取り付け方と接続	47
壁に掛けて使う	48
置くだけ充電器(DT-868CHG)の仕様	48

デュアル充電器の取り扱い	49
各部の名称とはたらき	49
付属品	49
充電のしかた	51
2台以上の接続	52
デュアル充電器(DT-5122CHG)の仕様	53
充電電池パックの取り扱い	54
標準充電電池パックの仕様	54
大容量充電電池パックの仕様	54
シリアル変換アダプタの取り扱い	55

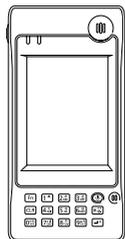
お使いになる前に

本機をはじめてお使いになる前に、次の手順で準備を行ってください。

1 箱の中身を確認しましょう。

箱を開けたら、まず、次の付属品が全部そろっているか、確認してください。

●本体



●スタイラス(ペン)

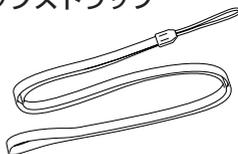


スタイラスは本体に装着されています。

●大容量充電電池パックカバー



●ネックストラップ



●取扱説明書(本書)

●保証書

●タッチスクリーン保護シート



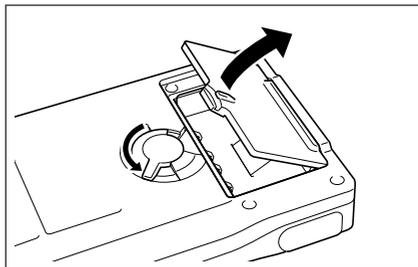
2 充電電池パックを充電します。

別売品の充電電池パック(DT-5123BATまたはDT-5124LBAT)を充電します。充電はデュアル充電器、置くだけ充電器を使うか、シリアルI/Oボックスを充電器として使って行います。

それぞれの充電のしかたについては、38、47、51ページをご覧ください。

3 充電電池パックを取り付けます。

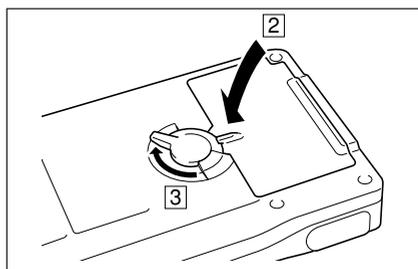
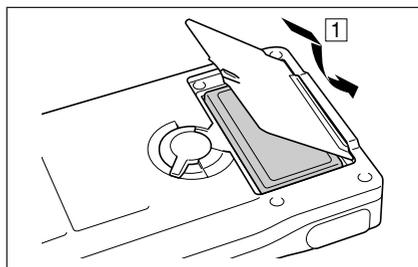
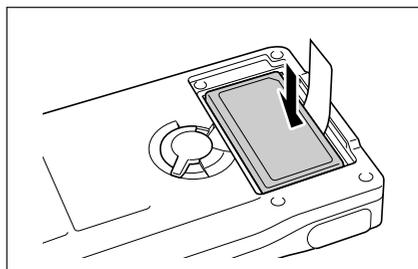
- ① 充電電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ、充電電池パックカバーを取り外します。



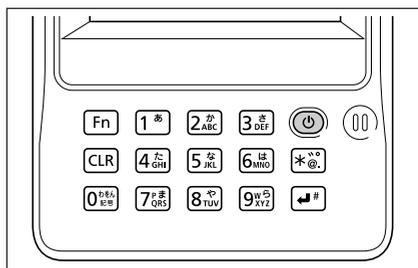
- ② 標準充電電池パック(DT-5123BAT)または大容量充電電池パック(DT-5124LBAT)を取り付けます。向きを間違えないように注意してください。

また、取り出しテープの端が充電電池パックの上に出た状態になるように取り付けてください。

- ③ 図のように充電電池パックカバーを元に戻し、充電電池パックカバーロックスイッチを「LOCK」の位置に戻してください。大容量充電電池パックのときは大容量充電電池パックカバーを取り付けてください。



- 4** 電源キーを約1秒間押して電源を入れます。
必要なアプリケーションを起動してください。



スタイラスの使いかた

タップ タッチスクリーンを軽く1回つつく操作です。

タップ&ホールド タッチスクリーン上にスタイラスの先をおしつけたまま動かさない操作です。

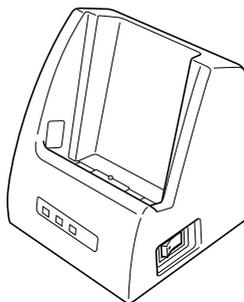
ドラッグ タッチスクリーン上にスタイラスの先を押しつけたまま「引きずる」操作です。紙の上に鉛筆で線を描くときと同じ要領です。

本機のシステム体系図

別売品一覧

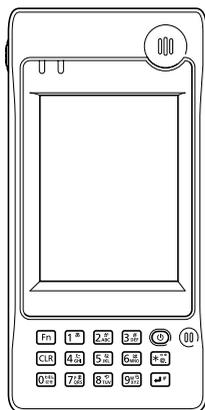
シリアルIOボックス

DT-5164IO (USB/RS-232C)
DT-5160IO (USBのみ)



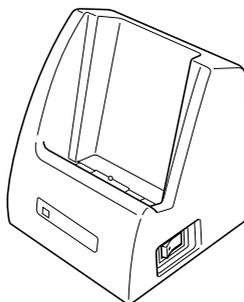
同梱物
ACアダプタ
(AD-S42120A)

DT-5100M50SCB
DT-5100M50SB
DT-5100M50
(本体)



置くだけ充電器

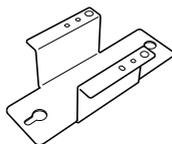
DT-5169CHG



同梱物
ACアダプタ
(AD-S42120A)

壁掛けユニット

DT-891WH



同梱物
壁掛けユニット用ネジ

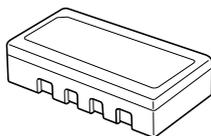


ネジ

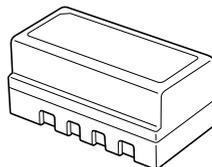


電池パック

DT-5123BAT
(標準充電電池パック)

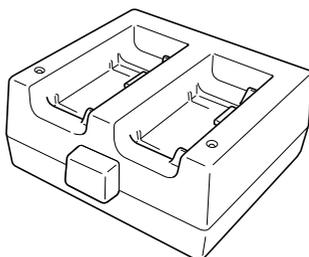


DT-5124LBAT
(大容量充電電池パック)



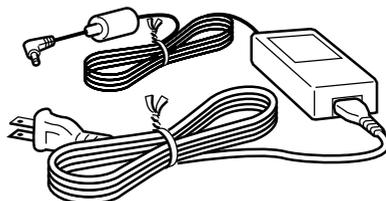
デュアル充電器

DT-5122CHG



デュアル充電器用ACアダプタ

MPC-577ADP
MPC-177ADP

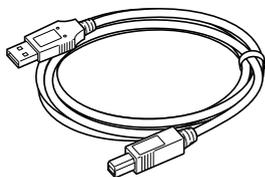


ケーブル

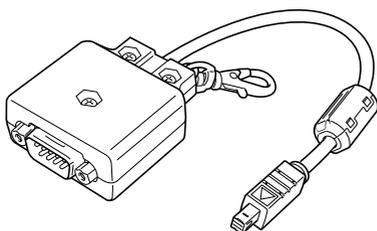
DT-887AXA IOボックスケーブル/RS-232C Dsub- 9Pin(メス)

DT-888RSC シリアルIOボックス連鎖接続用ケーブル

DT-380USB シリアルIOボックス-PC接続用ケーブル(USB)



DT-5180RSC シリアル変換アダプタ



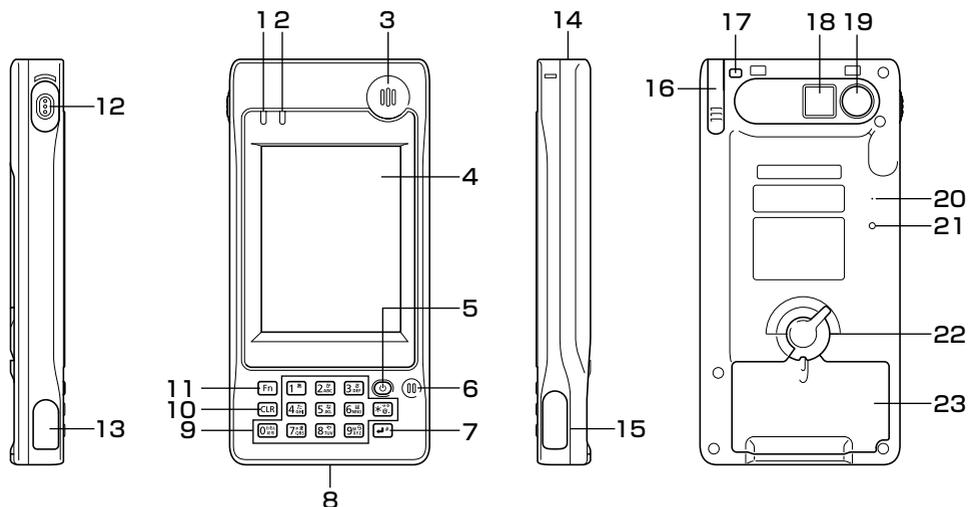
各部の名称とはたらき

<左側面>

<正面>

<右側面>

<裏面>



1	インジケータ1	充電が完了すると緑色に点灯します。充電中は赤色に点灯します。
2	インジケータ2	バーコードなどを読みとる際、正常に読みとれたときは緑色に、読み取れなかったときは赤色に点灯します。
3	レシーバ	音声を出力します。
4	液晶パネルおよびタッチスクリーン	文字や操作の指示などが表示されます。また、付属のスタイラスを使って本機の操作やデータ入力を行います。
5	電源キー	電源をON/OFFするキーです(約1秒押ししてください)。
6	マイク	音声を入力します。
7	実行キー	数値入力の完了あるいは次のステップへ実行を移すときに押します。
8	給電端子	シリアルI/Oボックス、置くだけ充電器からの給電に使います。
9	置数キー(数値キー)	数値や文字を入力するときに押します。
10	CLRキー	入力したキーの内容をすべて取り消すときに押します。
11	Fnキー	置数キーと組み合わせて、文字入力モードの切替や各種の設定をするとき、また、あらかじめ登録されているアプリケーションを起動するときに使用します。

12	トリガーキー	バーコードを読み取る操作をするキーです。
13	赤外線通信ポート	本体間通信、IOボックスとの通信などに使います。
14	レーザースキャナ	バーコードを読み取ります。
15	シリアルポート	別売のシリアル変換アダプタを接続します。
16	スタイラス	タッチスクリーンから入力するときに使います。
17	ネックストラップ取り 付け部	ネックストラップを取り付けます。
18	ミラー	カメラレンズを手前に向けて撮影するとき、被写体を確認します。
19	カメラレンズ	写真を撮影したり画像を取り込むとき使います。 (DT-5100M50SCBのみ)
20	ブザー	ブザー音を発します。
21	リセットスイッチ	リセットするときに押します。
22	充電電池バックカバー ロックスイッチ	充電電池バックカバーを開閉するときに回転させます。
23	充電電池バックカバー	この中に充電電池バックを装着します。

■ 電池交換のしかた

本機は充電電池により動作します。

本機に使用できる充電電池パックは2種類あり、標準充電電池パック(DT-5123BAT)と大容量充電電池パック(DT-5124LBAT)があります。

充電電池パックが消耗したら、すみやかに充電を行うか充電済みの充電電池パックに交換してください。

充電電池パックは、デュアル充電器、置くだけ充電器、シリアルIOボックスを使用して充電できます。

充電方法は各機種取り扱いのページを参照してください。

充電電池パックの交換のしかた

■ 使用上のご注意

■ 重要なデータは控えをとっておいてください

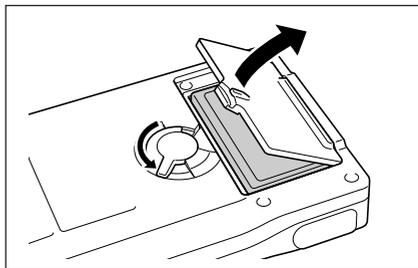
- ・ 充電電池パックは出荷前の製品検査や自然放電により、電池電圧が低下していることがあります。使用前に必ず充電をしてください。
- ・ 充電電池パックは、充放電をくり返すうちに電池寿命が低下します。充電しても極端に連続使用時間が短くなったら充電電池パックを交換してください。
- ・ 充電電池パックを外しても約5分間メモリ(RAM)のバックアップを行うことができます。

標準充電電池パックの交換

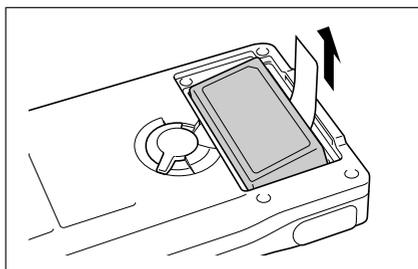
1 電源がOFFになっているのを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

2 本機を裏返します。

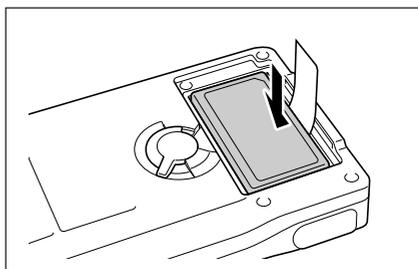
3 本体裏面の充電電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ、充電電池パックカバーを取り外します。



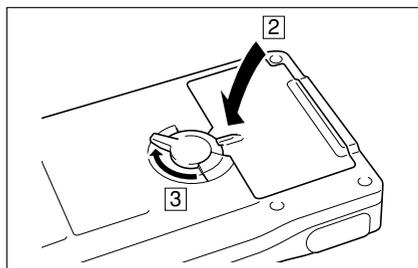
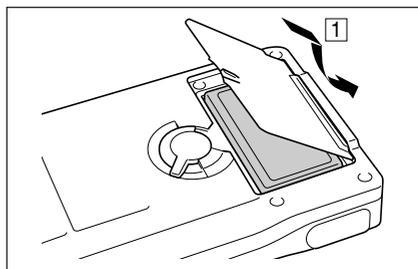
4 図のように充電電池パックを取り出します。



5 向きを間違えないように注意して、新しい充電電池パックを取り付けます。
取り出しテープの端が電池の上に出た状態になるように取り付けてください。



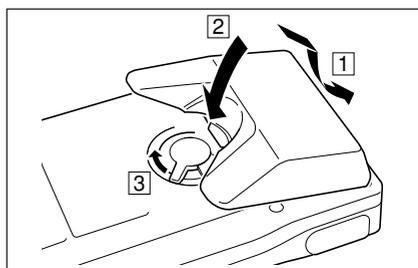
- 6** 図のように充電電池パックカバーを元に戻し、充電電池パックカバーロックスイッチを「LOCK」の位置に戻してください。



大容量充電電池パックを取り付けるときは

大容量充電電池パックを取り付けるときは、専用の大容量充電電池パックカバーを使います。

大容量電池パックカバーの取り外し、取り付けについては、標準充電電池パックカバーの取り外し、取り付けと同様です。



使用上のご注意

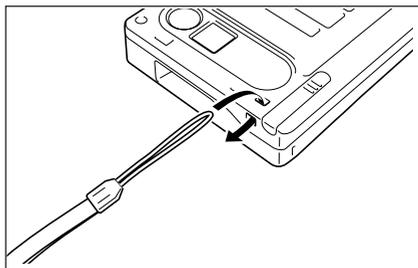
- ・ 充電電池パックの交換は5分以内に行ってください。
- ・ 5分以上充電電池パックを外した状態が続くと、本体に記録されたデータが消えることがあります。
- ・ 指定された電池以外は使用しないでください。

■ ネックストラップの取り付けかた

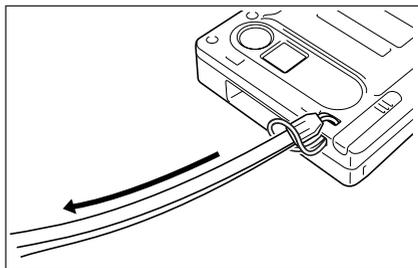
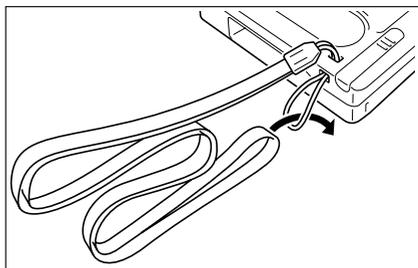
本機は、移動するときに落下防止用として、ネックストラップが使用できますのでご利用ください。

ネックストラップは次の手順で取り付けてください。

- 1 本体裏面のネックストラップ取り付け部にネックストラップの細いひもの輪の部分を通します。



- 2 反対側のひも(首にかける部分)を細いひもの輪に通します。



■ 使用上のご注意

ネックストラップを持って、本体をふりまわさないでください。

■ タッチスクリーン保護シートの取り付けかた

タッチスクリーン保護シートは次の手順で取り付けてください。

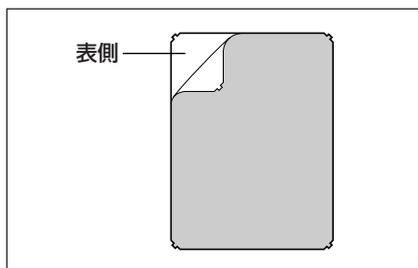
使用上のご注意

タッチスクリーン保護シートを取り付けるときは、タッチスクリーンを強く押さないでください。タッチスクリーンが破損するおそれがあります。

1 本機の電源をOFFにし、タッチスクリーン上のほこりなどを取り除いておきます。

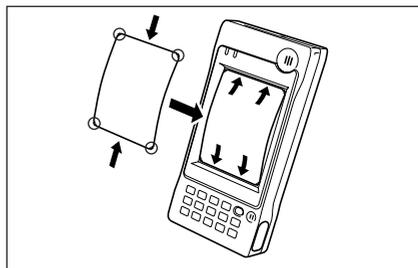
2 保護シートの表側に貼ってあるフィルム(緑色)をはがします。

- はがしにくい場合はセロハンテープなどをお使いください(適当な長さに切ったセロハンテープの片方の端を持ち、もう片方の端の粘着面を緑色のフィルムに押しつけてくっつけた上で引っ張ると、簡単にフィルムをはがすことができます)。
- フィルムの貼ってあった面の反対側が、タッチスクリーンに貼り付ける面になります。



3 保護シートの表側(フィルムが貼られていた面)を手前にし上下の端をタッチスクリーンのフチに挿し込みます。セットしにくいときは、保護シートの四隅の小突起を軽く手前に曲げてください。

- タッチスクリーンと保護シートの間にゴミ、ほこりなどが入らないようにご注意ください。ゴミやほこりなどが入った状態で本機をご使用になると、タッチスクリーンを傷つけることがあります。

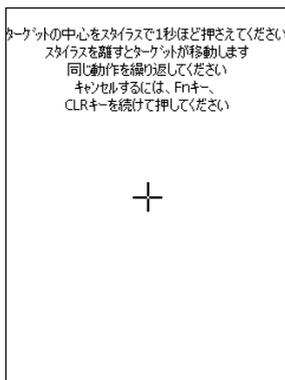


■ 本機の設定について

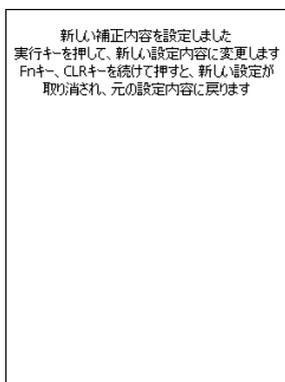
タッチスクリーンの位置補正をする

タッチスクリーンの反応が悪かったり、タッチスクリーン上でタッチした位置と、動作との間にずれがある場合は、以下の方法でタッチスクリーンの再補正をしてください。

- “Fn” キーを押して画面右下に“F”が表示されたことを確認してから“4”キーを押します。次の画面が表示されます。
※コントロールパネルの「スタイラス」をダブルタップして次の画面を表示させることもできます。



- 画面の指示に従って、ターゲット(+マーク)の中心をスタイラスで押さえます。画面上のターゲットを5回押さえると、次の画面が表示されます。



- 実行キーを押すか、画面の任意の位置をタップします。

コントラストを調節する

画面の色が薄すぎたり濃すぎたりして見にくい場合は、以下の方法で、コントラスト(画面の色の濃さ)を調節してください。

- ・“Fn”キーを押して画面右下に“F”が表示されたことを確認してから、“2”または“3”キーを押します。“2”キーを押すとコントラストが濃く、“3”キーを押すと淡くなります。
※続けて調整するときは、あらためて“Fn”キーを押してから“2”または“3”キーを押してください。
※コントロールパネルの「コントラスト&明るさ」をダブルタップして設定することもできます。

画面の明るさを調節する

暗いところで本機を操作する場合、画面を見やすくするために、画面の明るさを調整することができます。

- ・“Fn”キーを押して画面右下に“F”が表示されたことを確認してから、“5”または“6”キーを押します。“5”キーを押すと暗く、“6”キーを押すと明るくなります。
※続けて調整するときは、あらためて“Fn”キーを押してから“5”または“6”キーを押してください。
※コントロールパネルの「コントラスト&明るさ」をダブルタップして設定することもできます。

使用上のご注意

高温の場所でご使用になる場合は製品を保護するために画面が暗くなる場合があります。

画面の明るさを自動減光する

充電池パックを長持ちさせるために、本機の操作を行わないで一定時間が経過すると、画面の明るさを自動的に減光します。

以下の方法で減光するまでの時間を設定してください。

- ・画面左下の「スタートボタン」をタップし、「設定」メニューの「コントロールパネル」を選択します。次に「コントラスト&明るさ」アイコンをダブルタップし、「バックライト」タブをタップして、表示された項目を設定します。

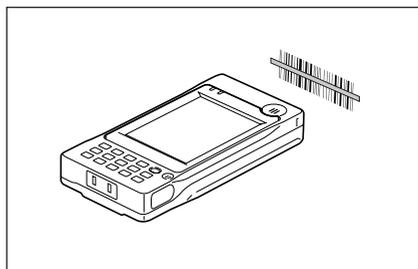
レーザーสキャナの取り扱い

1 電源をONにして、レーザーสキャナをバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。

2 レーザーが発光し、バーコードが読み取れます。

読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。

読み取りができなかったときは、インジケータ2が赤色に点灯します。



使用上のご注意

- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は40mm～300mmの距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類によって読み取り可能な距離が異なります。

警告ラベルについて

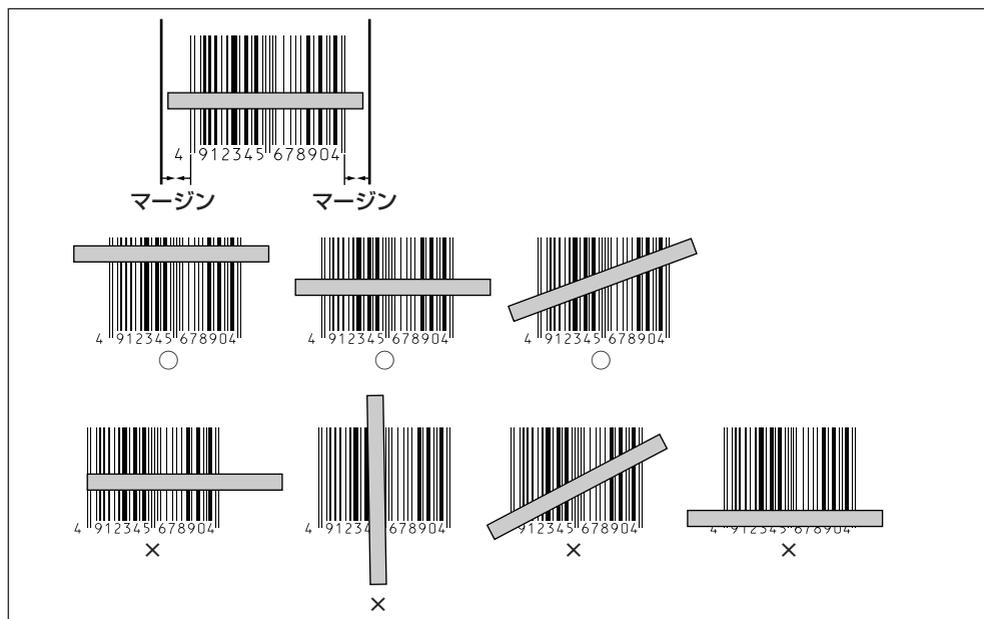


- このラベルはJIS C 6802に準じた、クラス2レーザー製品の警告、注意ラベルです。
- クラス2レーザー光は瞬間露光ですが、ビーム光を直接のぞき込むことは、絶対に避けてください。
- 本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは危険ですので絶対に行わないでください。
- レーザー光は最大出力1mW未満、波長650nmです。

バーコードをスキャンする位置

小さいバーコードは、レーザーキャナを近づけてお使いください。

大きいバーコードは、光にバーが入るように離してお使いください。



■ レーザ光をのぞき込まないでください。



• 本機は、レーザー光でスキャンします。

レーザー光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

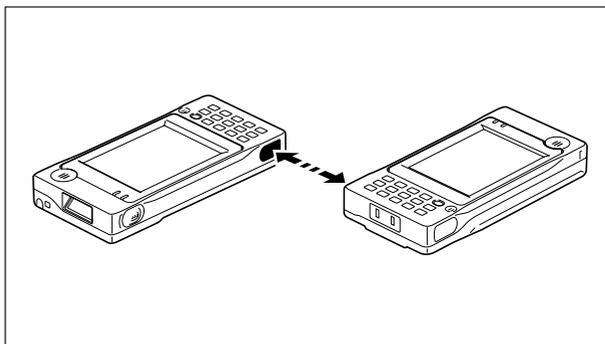
■ データ通信について

赤外線通信

赤外線通信は本体間の通信などでお使いになれます。

通信を行うときには、本機の赤外線通信ポートと他の機器の赤外線通信ポートが真っすぐに向き合うようにしてください。

0 (接触)～1 m (4Mbpsは最大25cm)以内で通信できます。



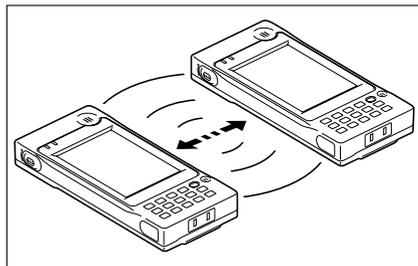
使用上のご注意

- 本機の赤外線通信では、高感度の通信素子を使用しております。
通信を良好に行うために、通信中に本機の近くで電波を発生させる機器(例えば、携帯電話等)のご使用は避けてください。
これらの機器をご使用になる場合は本機から距離を離して(携帯電話の場合は30cm以上離して)ご使用ください。

Bluetooth®通信

Bluetooth®通信は本体間の通信などでお使いになれます。

相手の機器と3m以内の距離(障害物のない状態)で通信することができます。



使用上のご注意

良好な通信を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth®機器とは、見通し距離約3m以内で通信してください。周囲の環境(障害物)によっては通信可能距離は短くなります。
- 他の機器(電気製品/AV機器/OA機器/デジタルコードレス電話機/ファックスなど)から2m以上離れて通信してください(特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください)。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に通信できなかつたり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、通信場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- ワイヤレスLANとの電波干渉について

Bluetooth®通信とワイヤレスLANは同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の周辺で本機を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ワイヤレスLANを搭載した機器からは、10m以上離れて使用してください。
- 10m以内で使用する場合は、本機またはワイヤレスLANを搭載した機器の一方の電源を切ってください。
- 本機のワイヤレスLANが動作していない状態にしてください。

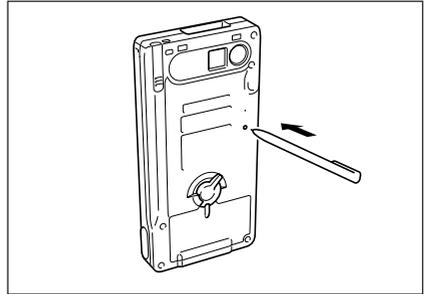
リセットのしかた

「リセット」はパソコンでの「再起動」に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集中等で、まだ保存していなかったデータは消去されますが、メモリ上に保存されているデータや各種設定などは基本的にそのまま残ります。

誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。

本機背面のリセットスイッチをスタイラスで押します。

リセット処理が開始されます。



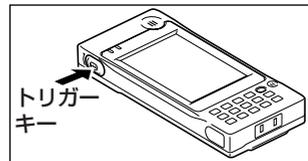
メモリに異常がない場合

起動されます。

メモリに異常がある場合

起動画面が表示されず、次のメッセージが表示されます。

メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました。
「トリガーキー」を押すとリセット処理が実行され、システムは復旧を試みます。
(システムは、ユーザーメモリの回復不能な状態を検出すると、RAM内のユーザーデータを全て消去します。)
取扱説明書を参照して、メモリ初期化を行ってください。



このメッセージが表示されたらトリガーキーを押してください。リセット処理が続行されず。ただし、メモリの状態によっては、正常にリセット処理が行われない場合があります。その場合は、次のページに記載されているフルリセットを行ってください。

フルリセット(メモリの初期化)について

フルリセット(メモリの初期化)を実行すると、メモリ(RAM)上に保存されていたすべてのデータが消去され、各種の設定がすべて初期状態に戻ります。

フルリセットは、次のような場合に実行します。

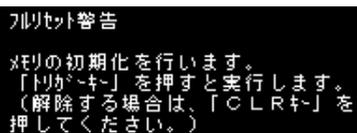
- ・メモリ(RAM)内容を完全に消去して、本機を初期状態に戻したい場合
- ・パスワードを忘れてしまい、本機を使うことができなくなった場合
- ・メモリ異常のため、本機が正常に動作しなくなった場合
- ・「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました・・・」というメッセージが表示された場合

フルリセットの実行のしかた

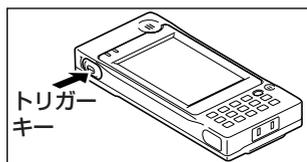
使用上のご注意

- ・フルリセットを行うと、メモリ(RAM)に記憶されているすべてのデータが完全に消去されます。可能な場合は、本機のデータをパソコンもしくはフラッシュメモリーなどへバックアップを行っておいてください。

1 電源キーを押しながらリセットボタンをスタイラスで約1秒間押すと、以下のメッセージが表示されます。

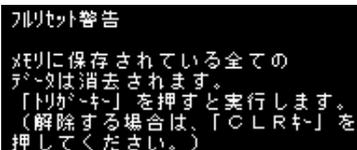


フルリセット警告
メモリの初期化を行います。
「トリガーキー」を押すと実行します。
(解除する場合は、「CLRキー」を
押してください。)

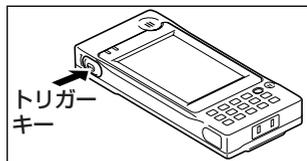


- ・実行を解除する場合は、CLRキーを押します。

2 トリガーキーを押すと、以下のメッセージが表示されます。



フルリセット警告
メモリに保存されている全ての
データは消去されます。
「トリガーキー」を押すと実行します。
(解除する場合は、「CLRキー」を
押してください。)



- ・実行を解除する場合は、CLRキーを押します。

3 再度トリガーキーを押します。

- ・フルリセットが実行され、すべてのメモリ(RAM)上のデータが消去され、起動画面が表示されます。

DT-5100の仕様

型式： DT-5100M50、DT-5100M50SB、DT-5100M50SCB
CPU： Intel® PXA255アプリケーションプロセッサ(MAX 400MHz)
メモリ： RAM 32 MB、フラッシュROM 32MB(FlashFX搭載)
OS： Microsoft® Windows® CE. NET 日本語版
表示： 3.5inch、240×320ドット、カラー2WayTFT液晶

レーザーキャナ部：
読み取りコード： JAN、EAN、UPC、Codabar(NW-7)、ITF、
CODE39、CODE128、MSI、IATA、Industrial 2 of 5、EAN128
読み取り距離： 約40mm～300mm以内

シリアルポート： 伝送速度： 115kbps(MAX)

赤外線通信ポート：
インターフェース： IrDA Ver.1.1 準拠
同期方式： 調歩同期、フレーム同期
伝送速度： 4Mbpsまで(MAX)

Bluetooth®通信：
通信方式： Bluetooth®Specification Ver.1.1
通信距離： 約3m(電波の状態や環境により変化します)
出力： 最大3dBm(PowerClass2)

無線通信(DT-5100M50SCB)：
種別： 高度化小電力データ通信システム(中速無線LAN)
拡散変調方式： DS
無線周波数： 2.400～2.4835 GHz
伝送速度： 11Mbpsまで
伝送距離： 屋内50m、屋外150 m(使用環境により変化)
チャンネル数： 13(うち同時使用3チャンネル)
標準規格： IEEE 802.11b 準拠
その他機能： 複数のアクセスポイント間でのローミング機能あり

C-MOSカラーカメラ(DT-5100M50SCB)：

約350,000画素

電源： 標準充電電池パック DT-5123BAT
大容量充電電池パック DT-5124LBAT

消費電力： DC1.5A/3.7～5V

電池寿命： DT-5100 M50 約4時間(DT-5123BAT)*
約8時間(DT-5124LBAT)*
DT-5100 M50SCB 約4時間(DT-5123BAT)*
約8時間(DT-5124LBAT)*
約3時間(DT-5123BAT)**
約7時間(DT-5124LBAT)**

*待機：演算：スキャンが20：1：1の場合

**待機：演算：スキャン：無線が20：1：1：1の場合

動作温度： -10～50℃

動作湿度： 10～80%RH(結露なきこと)

落下強度： 1.0m

防水防塵性能： JIS防沫形準拠、IEC529 IP54準拠

※コネクタなどのカバーはすべて閉めた状態

大きさ： 約幅80×奥行162×高さ19.7mm(突起部は含まず)

重さ： 約260g(DT-5100M50)(標準充電電池パックを装着時)

約280g(DT-5100M50SB/SCB)(標準充電電池パックを装着時)

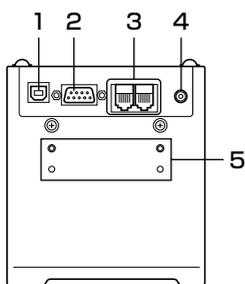
■ シリアルIOボックス(DT-5164IO/5160IO)の取り扱い

別売のシリアルIOボックス(DT-5164IO/5160IO)は、DT-5100とパソコンなどとの間でRS-232CインターフェースまたはUSBインターフェースを使い(DT-5160IOはUSBのみ)システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)ができます。また、DT-5100を接続して充電電池パックを充電することができます。

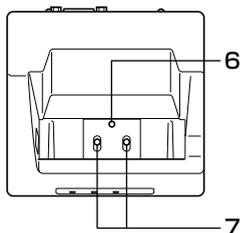
別売の壁掛けユニット(DT-891WH)を使って壁に設置することもできます。

各部の名称とはたらき

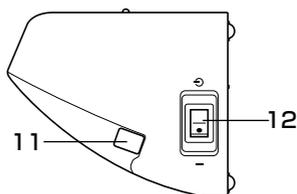
背面



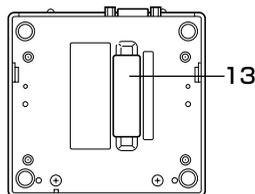
上面



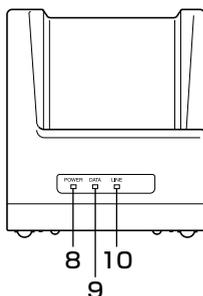
右側面



底面



正面



付属品

ACアダプタ
(AD-S42120A)



1	USBインターフェース	パソコンへ接続し、システムデータ・ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
2	RS-232Cインターフェース(DT-5164IOのみ)	パソコンへ接続し、システムデータ・ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
3	RS-422インターフェース(DT-5164IOのみ)	シリアルIOボックス間の接続に使用します。
4	ACアダプタジャック	ACアダプタ(同梱)を接続して電源を供給します。
5	壁掛けユニット取り付け部	壁掛け時に壁掛けユニットをセットしネジを取り付けます。
6	本体装着検知用スイッチ	DT-5100が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
7	給電端子	DT-5100へ電源を供給する端子です。
8	電源表示用LED	電源の状態、DT-5100の装着状態を表示します。 消灯：電源OFF 赤色点灯：電源ON、DT-5100は装着されていません。 緑色点灯：電源ON、DT-5100が正常に装着されています。
9	通信状態表示用LED(DT-5164IOのみ)	DT-5100がシリアルインターフェース(RS-232C/RS-422)経由で通信を行っていることを表示します。 消灯：通信していません。 緑色点滅：通信中です。 赤色点灯：シリアルIOボックス間の接続が異常です。
10	システム稼働表示用LED	システムが正しく稼働していることを表示します。 DT-5100の装着と関係なく、システムの稼働状態/システムとの通信可否を表示します。 消灯：システムが稼働していません。 緑色点灯：システムが稼働しています。
11	赤外線インターフェース(赤外線通信部)	非接触型赤外線通信部です。DT-5100との通信に使用します。
12	電源スイッチ	電源をON/OFFするスイッチです。
13	DIPスイッチ(DT-5164IOのみ)	各種仕様の設定を行うスイッチです。

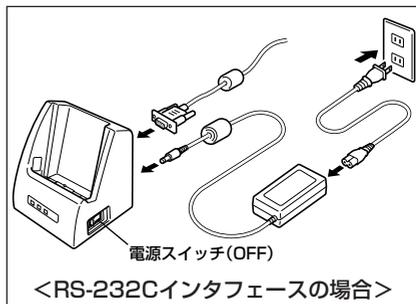
シリアルI/Oボックスの電源の取り付けかたと接続

シリアルI/Oボックスの電源は、シリアルI/Oボックスに付属のACアダプタを使用してください。

DT-5100とデータ通信をする前に必ずシリアルI/OボックスとACアダプタを接続してください。DT-5100への電源はシリアルI/Oボックスから供給されます。

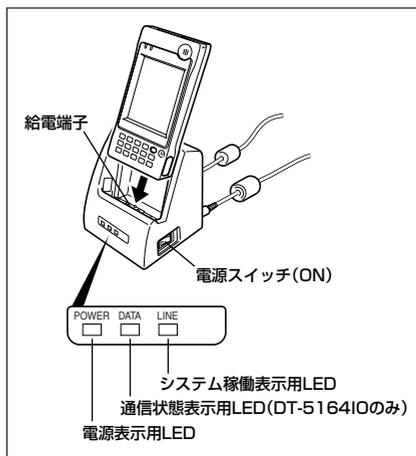
1 シリアルI/Oボックスの電源スイッチがOFFであることを確認してからシリアルI/Oボックスの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



3 シリアルI/Oボックスとパソコンの電源スイッチがOFFであることを確認してから、シリアルI/Oボックスの背面にあるRS-232Cインターフェース(DT-5164I/Oのみ)またはUSBインターフェースのキャップを外して、RS-232Cケーブル(DT-887AXA)またはUSBケーブル(DT-380USB)でパソコンに接続します。

RS-232Cケーブル(DT-887AXA)またはUSBケーブル(DT-380USB)を使わないときはキャップを付けてください。



4 電源スイッチをONにします。シリアルI/Oボックスの電源表示用LEDが、赤色に点灯します。

5 DT-5100側面の赤外線通信部とシリアルIOボックスの赤外線通信部が密着するように置きます。シリアルIOボックスの電源表示用LEDが、緑色に点灯します。

- システムが正しく稼働し、通信状態になると、システム稼働表示用LEDが緑色点灯します。
- シリアルインターフェース(RS-232C/RS-422)経由で通信を始めると、通信状態表示用LEDが緑色点滅します。

充電が始まると、DT-5100のインジケータ1が赤色に点灯します。充電が完了すると、DT-5100のインジケータ1が赤色から緑色に変わります。

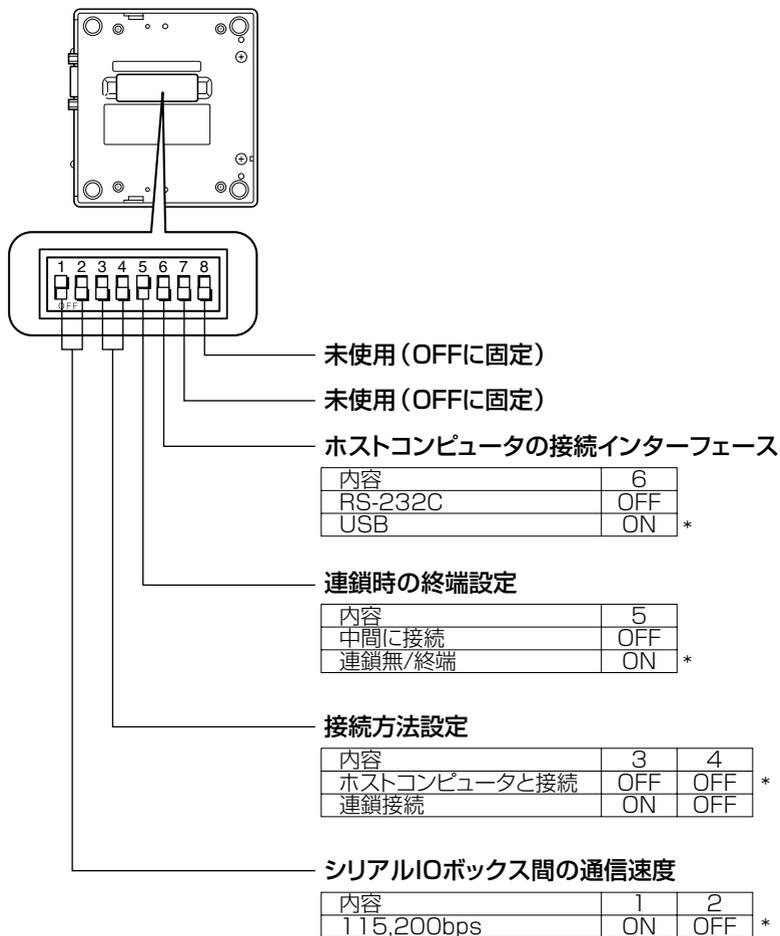
使用上のご注意

- 本機の赤外線通信機能では、高感度の通信素子を使用しております。通信を良好に行うために、通信中に本機の近くで電波を発生させる機器(例えば、携帯電話など)のご使用は避けてください。これらの機器をご使用になる場合は、本機から離して(携帯電話の場合は30cm以上離して)ご使用ください。
- シリアルIOボックスの給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。

DIPスイッチの設定(DT-5164IOのみ)

シリアルIOボックスの底面のカバーを外すとDIPスイッチがあります。

各スイッチをON/OFFすることで仕様を設定できます。電源OFFにしてから設定してください。



*初期設定の状態を示しています。

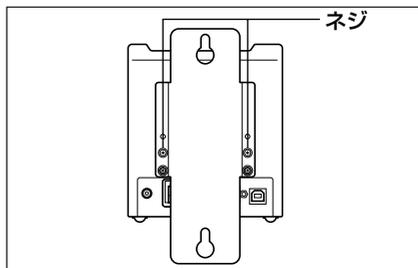
使用上のご注意

- 上記以外の設定は検査等特殊なモードであり、正常に動作しませんので設定しないでください。

壁に掛けて使う

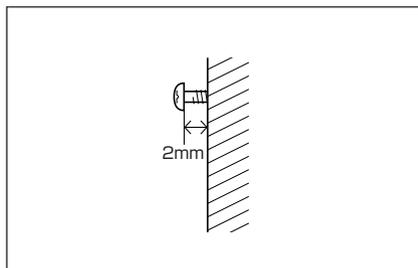
別売の壁掛けユニット(DT-891WH)を使って、シリアルIOボックスを壁に掛けて使うことができます。

- 1** 背面に壁掛けユニットを取り付け、壁掛けユニット用ネジで固定します。

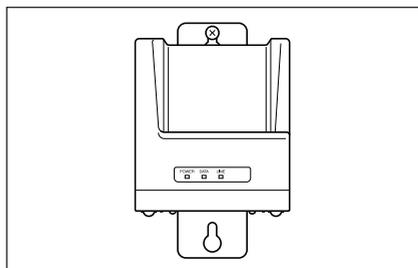


- 2** 壁掛けユニットの上の穴を固定する位置に、付属のネジをねじ込みます。

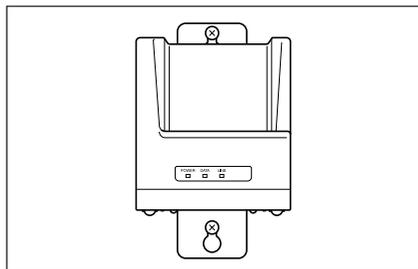
完全にねじ込まず、ネジの頭と壁の間に2mm程度のすき間を空けておいてください。



- 3** 壁掛けユニットの上の穴をネジに引っかけます。



- 4** 壁掛けユニットの、下の穴の上端部分に合わせて、付属のネジをねじ込みます。



5 上下のネジをしっかりとねじ込みます。

壁から外すときは

1 上下のネジをゆるめます。

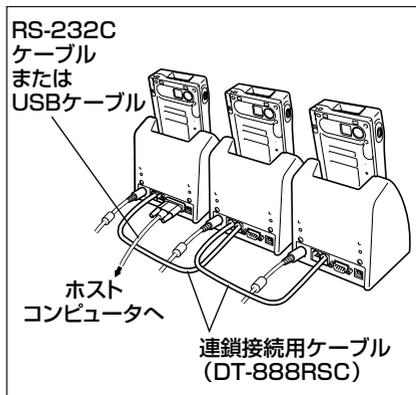
2 壁掛けユニットを上へずらして、取り外します。

使用上のご注意

- シリアルIOボックスを壁に取り付けた後、ネジのゆるみや固さを確認してください。
- RS-232Cケーブルは接続できません。USBケーブル、または、連鎖接続用ケーブルを使用して接続してください。

シリアルI/Oボックス(DT-5164I/O)を2台以上接続する

ホストコンピュータに接続したシリアルI/Oボックスの「C-OUT」と、次に接続したいシリアルI/Oボックスの「C-IN」を接続します。



使用上のご注意

- オプションの連鎖接続用ケーブル(DT-888RSC)を使うことにより、最大8台までシリアルI/Oボックスを接続できます。

シリアルI/Oボックス(DT-5164I/O/5160I/O)の仕様

1. 赤外線通信仕様

- インターフェース : 赤外線インターフェース
- 規格 : IrDA Ver1.1 準拠
- 同期方式 : 調歩同期
- 伝送速度 : 9,600/115,200bps/4Mbps
(4Mbpsは、ホストコンピュータとUSB接続した場合のみ)

2. USB仕様

- 規格 : USB Ver1.1 準拠
- 伝送速度 : 12Mbps(MAX)

3. RS-232C仕様(DT-5164I/Oのみ)

- 通信方式 : 全二重
- 同期方式 : 調歩同期
- 伝送速度 : 115,200bps

4. RS-422仕様(DT-5164I/Oのみ)

- 通信方式 : 全二重
- 同期方式 : 調歩同期
- 伝送速度 : 115,200bps

5. 充電仕様

- 充電方式 : 定電圧方式(電流制限付き)
- 充電時間 : 約4時間(標準電池パック)
約8時間(大容量電池パック)

6. 電源部

- 使用電源 : 専用ACアダプタ
- 消費電流 : DC12V 約1000mA(DT5164I/O)
DC12V 約850mA(DT5160I/O)
- 本体(DT-5100)出力 : DC5V 1500mA(MAX)

7. ACアダプタ仕様

- 規格名 : AD-S42120A
- 入力 : AC 100-240V 50/60Hz 98-115VA
- 出力 : DC 12V 3500mA

8. 外形寸法・重量

- 外形寸法 : 卓上時 :
約110(幅)×103(奥行)×127(高さ)mm
壁掛け時 :
約110(幅)×148(奥行)×153(高さ)mm
- 重量 : 卓上時 : 約390g(DT5164I/O) 約370g(DT5160I/O)
壁掛け時 : 約550g(DT5164I/O) 約530g(DT5160I/O)

9. 動作環境

- 動作温度 : 0~40℃
- 動作湿度 : 30~80%RH(結露なきこと)

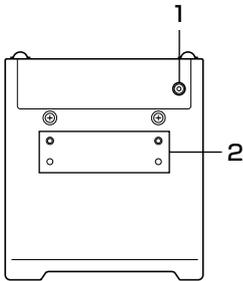
置くだけ充電器の取り扱い

別売の置くだけ充電器(DT-5169CHG)は、DT-5100を接続して、充電電池パックを充電することができます。

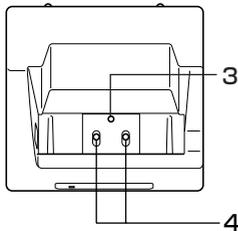
また、別売の壁掛けユニット(DT-891WH)を使って壁に設置することもできます。

各部の名称とはたらき

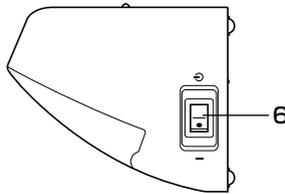
背面



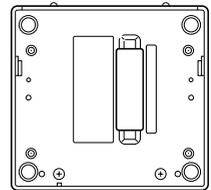
上面



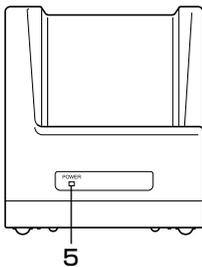
右側面



底面



正面



付属品

ACアダプタ
(AD-S42120A)



1	ACアダプタジャック	ACアダプタ(同梱)を接続して電源を供給します。
2	壁掛けユニット 取り付け部	壁掛け時に壁掛けユニットをセットしネジを取り付けます。
3	本体装着検知用スイッチ	DT-5100が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
4	給電端子	DT-5100へ電源を供給する端子です。
5	電源表示用LED	電源の状態、DT-5100の装着状態を表示します。 消灯： 電源OFF 赤色点灯： 電源ON、DT-5100は装着されていません。 緑色点灯： 電源ON、DT-5100が正常に装着されています。
6	電源スイッチ	電源をON/OFFするスイッチです。

置くだけ充電器の電源の取り付け方と接続

置くだけ充電器の電源は、置くだけ充電器に同梱の専用ACアダプタを使用してください。

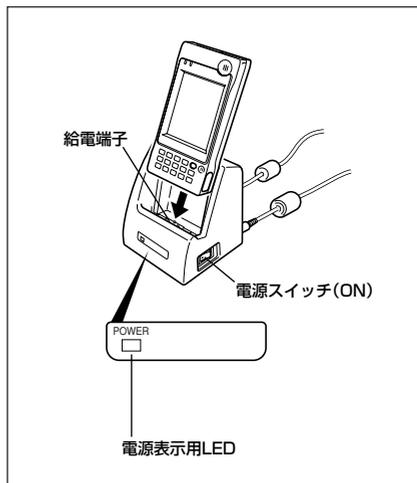
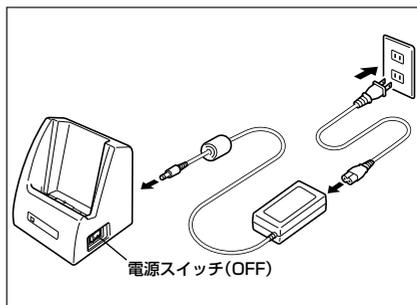
1 置くだけ充電器の電源スイッチがOFFであることを確認してから置くだけ充電器の背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

2 電源コードをACアダプタに接続した後、電源コードのプラグをコンセントに接続します。

3 電源スイッチをONにします。置くだけ充電器の電源表示用LEDが、赤色に点灯します。

4 DT-5100底面の給電端子と置くだけ充電器の給電端子が密着するように置きます。置くだけ充電器の電源表示用LEDが、緑色に点灯します。

充電が始まると、DT-5100のインジケータ-1が赤色に点灯します。充電が完了すると、DT-5100のインジケータ-1が赤色から緑色に変わります。



使用上のご注意

- 置くだけ充電器の給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。

壁に掛けて使う

シリアルIOボックス(DT-5164IO/5160IO)と同様です。41ページを参照してください。

置くだけ充電器(DT-5169CHG)の仕様

1. 充電仕様

充電方式	: 定電圧方式(電流制限付き)
充電時間	: 約4時間(標準電池パック) 約8時間(大容量電池パック)

2. 電源部

使用電源	: 専用ACアダプタ
消費電流	: DC12V約800mA
本体(DT-5100)出力	: DC5V約1.5A(MAX)

3. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S42120A
入力	: AC 100-240V 50/60Hz 98-115VA
出力	: DC 12V 3500mA

4. 外形寸法・重量

外形寸法	: 卓上時: 約110(幅)×103(奥行)×127(高さ)mm 壁掛け時: 約110(幅)×148(奥行)×153(高さ)mm
重量	: 卓上時: 約360g 壁掛け時: 約520g

5. 動作環境

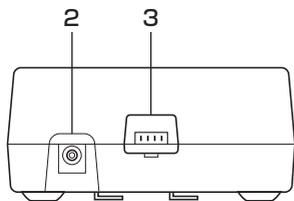
動作温度	: 0~40℃
動作湿度	: 30~80%RH(結露なきこと)

デュアル充電器の取り扱い

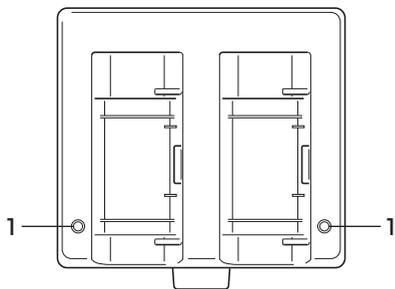
別売のデュアル充電器(DT-5122CHG)は、充電電池パック2個を順次に充電することができます。

各部の名称とはたらき

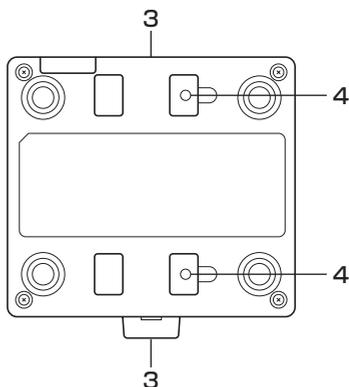
上面



正面



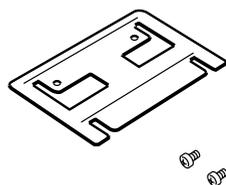
裏面



付属品

接続用アタッチメント

ネジ2本



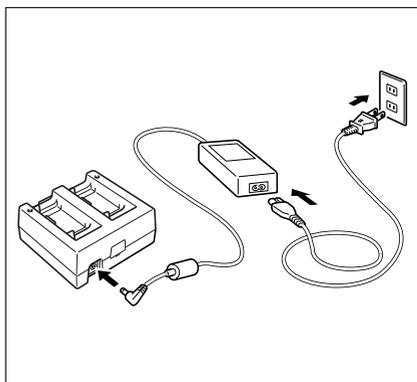
1	充電表示用LED	充電電池パックの充電状態を表します。 消灯： 充電しないとき 赤色点灯： 充電中 赤色点滅： 電池パックの異常 緑色点灯： 充電完了
2	ACアダプタジャック	ACアダプタを接続して電源を供給します。
3	デュアル充電器接続用端子	デュアル充電器どうしの接続に使います。
4	接続用アタッチメント取り付け部	デュアル充電器を2台以上接続する際に、接続用アタッチメントを取り付けます。

使用上のご注意

接続用アタッチメントはデュアル充電器一台に一つ付属しています。
複数のデュアル充電器を接続すると、接続用アタッチメントが一つ余ります。
余った接続用アタッチメントは予備としてお使いください。

充電のしかた

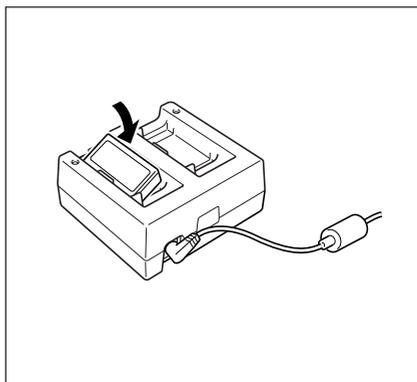
1 デュアル充電器のACアダプタジャックにACアダプタのコネクタを差し込みます。



2 別売の専用ACアダプタのプラグをコンセントに接続します。

3 充電電池パックの端子の方向に注意してデュアル充電器に取り付けます。

充電表示用LEDが、赤色に点灯して充電が開始されます



充電表示用LEDの表示

消灯： 充電しないとき

赤色点灯：充電中

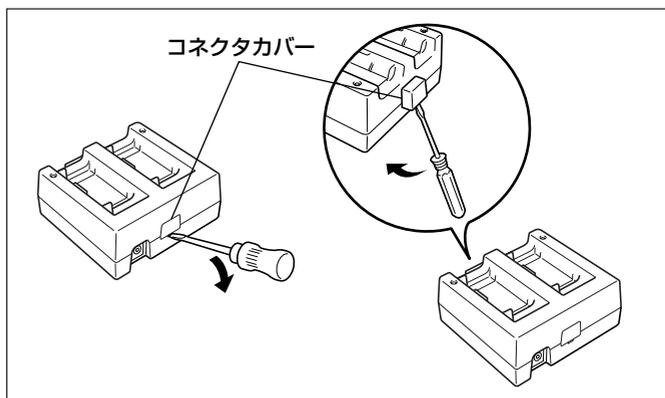
赤色点滅：充電電池パックの異常

緑色点灯：充電完了

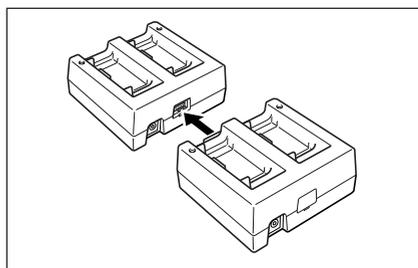
2台以上の接続

デュアル充電器を3台まで接続して、1つのACアダプタで使用することができます。

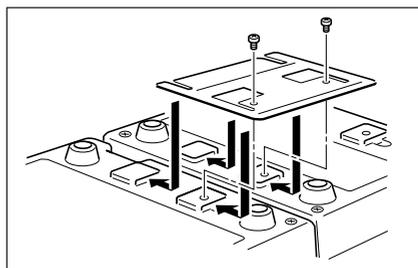
- 1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。



- 2 デュアル充電器接続用コネクタを接続させます。



- 3 裏面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。
同様にして最大3台まで接続することができます。



デュアル充電器(DT-5122CHG)の仕様

型式：	DT-5122CHG
充電：	充電方式： 定電圧方式(電流制限付き)
	充電時間： 約2.5時間(標準充電電池パック1個)
	約5時間(大容量充電電池パック1個)
	2個を同時に装置した場合
	約5時間(標準充電電池パック2個)
	約10時間(大容量充電電池パック2個)
使用電源：	別売専用ACアダプタ(MPC-577ADP)
	(MPC-177ADP)
消費電流：	約420mA
使用温度：	0~40℃
大きさ：	約幅110×奥行100×高さ53.5mm
重さ：	約163g

■ 充電電池パックの取り扱い

本機は、ご使用時間やご使用環境(オプションの使用など)に応じ、2種類の容量の充電電池パックを用意しております。

大容量充電電池パックをご使用になる場合は、同梱の大容量充電電池パック専用のカバーに交換してください。

使用上のご注意

- 充電電池パックを本体から外して保管するときは、必ず専用のソフトケースに入れてください。
- 充電電池パックを長期間使用されない場合、自然放電や充電電池パックの自己消費により使用できる容量が低下します。この充電電池パックを満充電にしても使用時間等の性能が満足できない場合は、寿命と思われるので、新しいものと交換してください。

標準充電電池パックの仕様

型式：	DT-5123BAT
公称容量：	900mAh
公称電圧：	3.7V
外形寸法：	約幅27.9×奥行51.2×高さ12.4mm
重量：	約32g
付属品：	ソフトケース

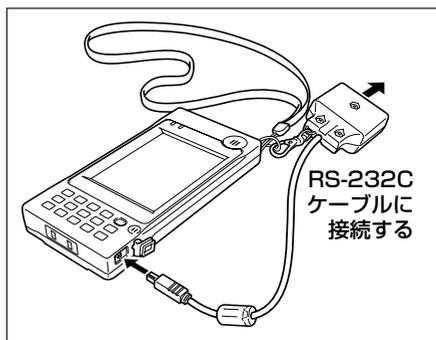
大容量充電電池パックの仕様

型式：	DT-5124LBAT
公称容量：	1800mAh
公称電圧：	3.7V
外形寸法：	約幅27.9×奥行51.2×高さ23.0mm
重量：	約57g
付属品：	ソフトケース

■ シリアル変換アダプタの取り扱い

別売のシリアル変換アダプタ(DT-518ORSC)を使って、本機をパソコンなどのシリアルポートに接続することができます。

- 1 本機のシリアルポートのカバーを開き、シリアル変換アダプタを接続します。
- 2 ネックストラップにフックを取り付けます。
- 3 パソコンなどのシリアルポートに接続したRS-232Cケーブルに、シリアル変換アダプタの另一端を接続します。



商品についてのご相談

●システムソリューション営業統轄部 ☎03-5334-4638(代) 〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

法人第一営業部 ☎03-5334-4534
〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

法人第二営業部 ☎03-5334-4447
〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

法人第三営業部 ☎03-5334-4820
〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

西日本営業部 ☎06-6243-1717
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 3-6-8 御堂筋ダイワビル 7F

名古屋営業所 ☎052-324-2104
〒460-0024 名古屋市中区正木 3-9-27 NFC 金山ビル 4F

カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

修理の相談窓口

カシオテクノサービスセンター

- 修理依頼前の故障・修理・機能に関するご質問に電話でお答えします。

情報機器コールセンター



0570-022066

市内通話料金のみでご利用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日

AM9:00～PM5:30

(日曜・祝日、年末年始、夏期休暇は除く)

携帯電話・PHSなどをご利用の場合、03-5294-7251をご利用ください。

- 北海道 札幌 | ●北陸 金沢
- 東北 盛岡 | ●東海 静岡 岡
- 関東 仙台 | ●近畿 京都 名古屋
- 宇都宮 | ●中国 大阪 神戸
- 水戸 | ●四国 岡山 広島
- 高崎 | ●九州 高松 福岡
- 埼玉 | ●新潟 新潟 長野
- 千葉 | ●信越 新潟 長野
- 東京 | ●九州 熊本 鹿児島
- 多摩 | ●九州 熊本 鹿児島
- 横浜 | ●九州 熊本 鹿児島
- 新潟 | ●九州 熊本 鹿児島
- 長野 | ●九州 熊本 鹿児島

*その他、26カ所の出張所があります。